

まち歩き 王子界限から古河庭園

一万円札に登場した渋沢栄一にちなんで、彼の足跡と旧大蔵省関連施設、そして古河庭園を歩きます

日時 12月7日(土曜日)

集合 JR大塚駅南口(改札出て右に) 10時

まち歩き 年末の金回りが良くなるように財務省ルートを歩きます。

コース 集合：大塚駅-(都電)-王子 音無橋親水公園(石神井川下流)-旧醸造試験所(財務省酒税管理 等級判定)-飛鳥山公園 渋沢栄一関連施設-印刷局(財務省1万円札印刷)-古河庭園-駒込駅-(山手線)-池袋 →忘年会会場へ

忘年会 13:00 会場 池袋東武百貨店 14階 スパイス内 [BIKiNi medi](ビキニ メディ) スペイン料理 03-5956-1800

※今年は村井さんが米寿を迎えたので、席上でお祝いします。

会費 5500円程度 乾杯酒含む 飲み放題ではないので追加分は各自払い

会計幹事 伊勢田さんお願いします。

注意 忘年会は13時で予約しましたので、朝食はしっかり摂って参加してください。

一笑会 まち歩き 王子界限から古河庭園

1 音無親水公園 石神井川のこの付近は江戸時代には景勝地で、浮世絵にも数多く描かれている。飛鳥山分水路は、石神井川下流部において王子駅周辺で蛇行していた石神井川本川を分水路で直線化することにより、周辺の水害を早期に解消することを目的として整備したもので、この分水路は区立飛鳥山公園と JR 京浜東北線等の地下を通過し再び本川に合流します。その時水量の減った旧ルートを公園化した。

2 旧醸造試験所（重文）醸造方法の研究や清酒の品質の改良をはかることと、講習会により醸造技術や研究成果を広く普及させることなどを目的に、明治 37 年（1904）に創立された。煉瓦の建物は大蔵省技師の妻木頼黄が設計・監督した。第一工場は、躯体の煉瓦壁の一部に中空部分を設けて外部の温度変化の影響を受けにくくし、リンデ式アンモニア冷凍機を用いた空調設備を備えるなど、ビール醸造施設を応用した設計である。ここで清酒等級判定で税率が決定されていた。

3 飛鳥山公園 徳川吉宗がこの地に桜を植え、庶民の行楽の場とし現在でも花見の名所。
渋沢資料館

4 渋沢栄一別荘（暖依村荘） 1987（M11）に別荘として建設され、1901 から亡くなるまでは本邸として使用された。本邸（和館）の他に茶室 3 土蔵その他その他数棟があったが 1945 空襲で焼失し、「晩香廬」と「青淵文庫」は焼失を免れている。

晩香廬 喜寿を記念して贈呈された小亭で、1918 年に竣工。設計：田辺淳吉

青淵文庫 傘寿と子爵昇進を祝して贈呈された図書館 1925 年に竣工。書庫。田辺淳吉

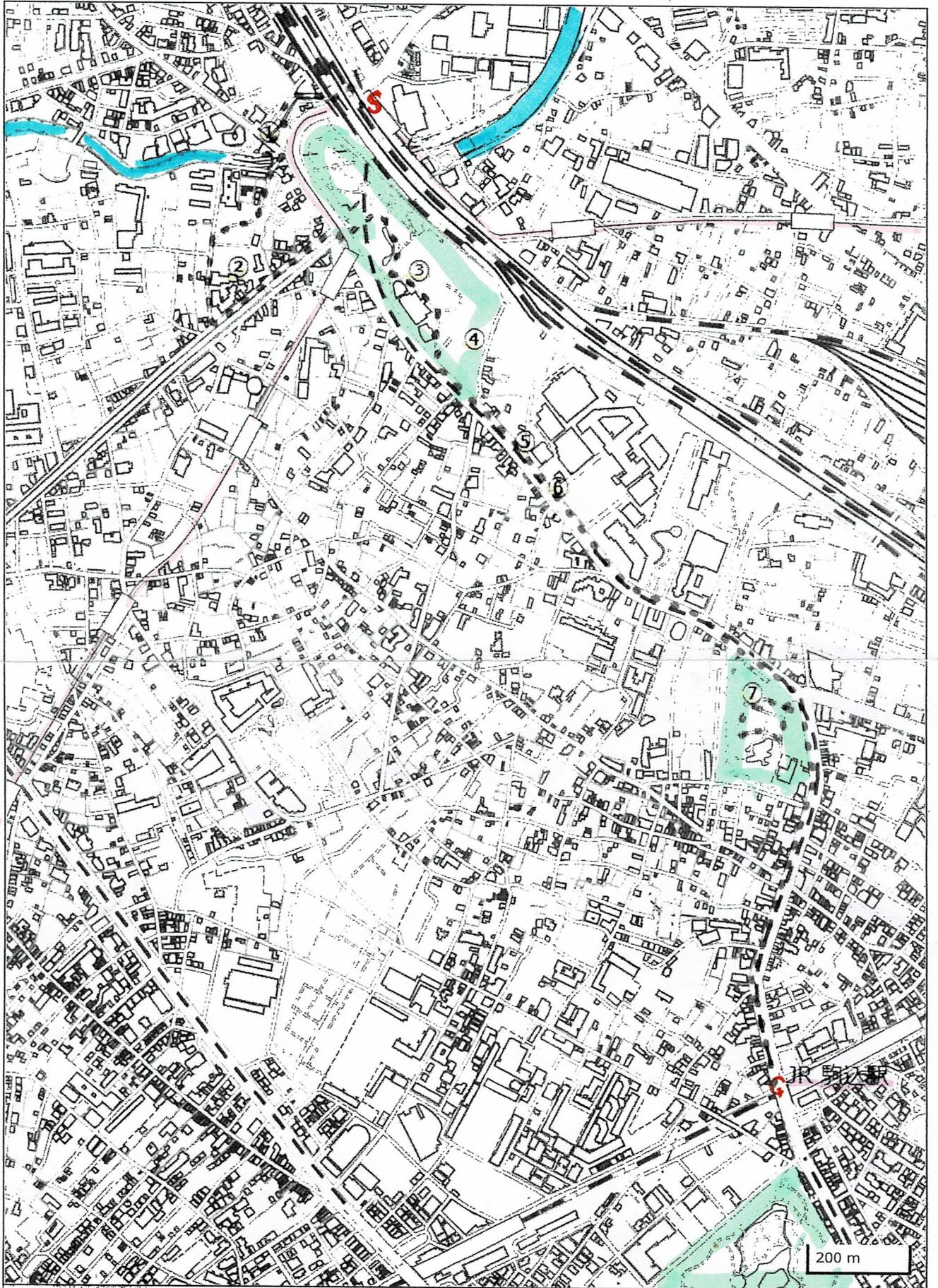
5 西ヶ原一里塚 江戸の日本橋から日光まで続く「日光御成道(*1)」の二里目の一里塚で、徳川時代に設置されたままの旧位置を留めており、都内では大変貴重なものです。大正時代に道路改修工事にともない撤去されそうになりましたが、実業家の渋沢栄一・渋沢栄一や古河虎之助等の寄付金と地元民で周辺 600 坪の運動によって塚の保存に成功しました。大正 11 年 3 月 8 日には、国史跡に指定されています。榎の木 東京都西ヶ原 2-11-1

6 国立印刷局王子工場 1871 年（M4）大蔵省紙幣司として創設された。創設当初の業務は紙幣の発行、交換、国立銀行（民間銀行）の認可・育成等紙幣政策全般でした。

当時、国内では印刷技術が未熟であったことから、明治政府は、近代的な紙幣の製造をドイツやアメリカに依頼したが、紙幣国産化の取組が行われることとなり、併せて証券類、郵便切手の製造、活版印刷等の印刷・製紙業務を行うこととなり現在に至る。

7 旧古河庭園 この付近に初代古河市兵衛と親交のあった陸奥宗光の屋敷があった。陸奥の二男淳吉が古河の養子となり二代目古河市兵衛として入ったが早逝した。初代の晩年に男子が誕生したので三代目を名乗り、現在の邸宅を建設（1917）した。設計は J コンドル
作庭は 小川治兵衛

地理院地図
Vector



大塚

200 m